

長かった梅雨がようやく明けました。

日本各地で豪雨の被害に遭われた皆様に心から御見舞いを申し上げます。

県内でも大きな被害が出ており、線状降水帯の発生位置によりまさに紙一重です。本村も 7 月 6 日から 9 日にかけての雨は尋常ではなく、村内各所で床下浸水、林道・村道の法面崩壊、水路の損壊など、100 箇所を超える被害がありました。復旧に要する費用は 1 千万円を超えそうですが、大規模災害に遭われた地域に比べれば小規模な被害で安堵しております。被害を最小限に食い止められたのも、消防団、自主防災会、自治会の皆様の努力の賜物と感謝しております。

自然の力の前には無力な私たちですが、有史以来、幾多の困難にも負けず立ち向かい続けてきた人間の力を信じたいと思います。

そんな力を思い出させてくれるのが 8 月 29 日の映画上映会の「海難1890」です。明治 22 年、紀伊大島沖で遭難したトルコ(当時オスマン帝国)の乗組員を紀伊大島・檜野の村民が総出で救助にあたり 69 名の尊い命を救いました。時は巡り、昭和 60 年。イラン・イラク戦争の時、トルコの人たちがこの先祖が受けた海難事故の恩義を思い出し、戦地に取り残された日本人 215 人を飛行機に乗せて助けてくれたという史実を映画化したものです。

今、私たちに必要なものは人間の心の力ではないでしょうか。その思いを強くするためにこの映画を選びました。

新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどのイベントや行事を中止せざるを得ない中で少しは皆様の心に栄養を与えたいと思い、感染予防に万全の注意を払い開催いたします。

村では、新型コロナウイルス感染症対策の次の一手を準備しています。村民生活を「新しい生活様式」に対応できるようにする事と、疲弊する地場産業の支援を主眼に置いて、感染予防用品の備蓄と災害時の避難場所の感染対策や健康維持のための機器の整備、村民生活の支援や村内の事業者を応援する経済対策を盛り込んだ内容としています。第 2 波ともいえる感染の広がりが心配ですが、気を緩めることなくブレーキとアクセルを上手に使い分ける村政運営を心掛けたいと思っています。

梅雨が明け残暑厳しい日々が続きますが、ストレスを溜めないように健やかにお過ごし下さい。

2020 年(令和 2 年)8 月

東白川村長 今井俊郎